

せん定急いで

降雪が多い年は、せん定作業が遅れ気味になります。春先は腐らん病の休眠期防除、施肥、苗木の定植など、重要な作業があるので急ぐ必要があります。また、終わった園地でも、いま一度、樹を見回り側枝の配置や結果枝数を点検、見直しをしてください。

腐らん病多発園地では、罹病枝の除去や病斑部の削り取り、休眠期防除を徹底してください。秋に基肥を施用できなかった場合、今年の収量、着色などを考慮するなど、施肥量を加減して3月中には基肥の施用を終えてください。